

### 第三者評価結果

事業所名：木下の保育園日吉

共通評価基準（45項目）

I 福祉サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者評価結果
【1】 I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<コメント> 理念や基本方針を明文化し、入園のしおりやパンフレットへの掲載、紹介イベントでの掲示をおこない、説明をおこなっています。職員に向けた取り組みでは、入社時の説明や職員会議・昼礼で周知することにより、理解の促進を図っています。	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者評価結果
【2】 I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<コメント> 運営委員会の活用や地域のNPO法人による地域交流イベントへ参加し、事業経営をとりまく環境と経営状況の把握・分析をしています。さらに複数の自治体に姉妹園がある強みを活かし、自治体ごとの特色の相違を把握し、より客観的な事業経営をとりまく環境と経営状況の把握・分析をしています。	
【3】 I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
<コメント> 把握・分析をした情報を基に園で検討し、その結果を定期的に法人本部へ報告した上で、必要に応じて法人本部と協力して具体的な課題や問題点を適切に抽出・共有しています。	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
【4】 I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
<コメント> 法人の保育理念「生きる力を創る」の実現に向けて収集した課題を踏まえ、保育理念や保育所保育指針を基に園長が中長期事業計画を策定しています。	
【5】 I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
<コメント> 中・長期計画を踏まえた単年度の事業計画が策定されています。単年度の計画は保育理念・保育目標を踏まえ、各年齢に応じた保育カリキュラムや外遊び・行事や、安全・安心を考慮した保育サービスの質に対する考え方も定めています。	

(2) 事業計画が適切に策定されている。	
【6】 I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
<コメント> 職員会議などで事業計画に対する実施状況を共有して評価・見直しをおこない、次期以降の計画策定に活かすとともに職員の理解を深めています。	
【7】 I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
<コメント> 策定した計画は入園時の説明の他に、年間行事予定の配布や都度の手紙の配布などで、保護者などに周知され理解を促している。	

#### 4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者評価結果
【8】 I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<コメント> 保育の質の向上に向けた取組として、自己評価チェックシートを用いた自己評価や定期的な面談をおこなっています。	
【9】 I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
<コメント> 自己評価の結果にもとづき課題を明確にし、改善策を実施しています。面談や職員会議を通して課題を共有し、より良い改善策の検討に努めています。	

## II 組織の運営管理

### 1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者評価結果
【10】 II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<コメント> 施設長は自らの役割と責任を明確にし、昼礼や職員会議で周知しています。さらに園だよりにも記載して周知・理解を図っています。	
【11】 II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<コメント> 施設長は研修などを通じて、関係法令などを理解するように努めています。理解した関係法令などは研修報告書や昼礼・職員会議で職員への情報共有をおこない、職員がより正しく理解できるように取り組んでいます。	

(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
【12】 II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<コメント> 定期的に職員との面談をおこなうことや、昼礼や職員会議および連絡ノートなどでコミュニケーションをとり、状況を把握するとともに組織としての共通意識を高めています。	
【13】 II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<コメント> 経営の改善や業務の実行性を高める目的で、役割分担を明確に定めてそれを周知・実践しています。	

## 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	第三者評価結果
【14】 II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
<コメント> 求人や配置等の人事関係の計画は、法人が主体となって取り組み、各種求人専用媒体への掲載などをおこなっています。キャリアアップ研修や個人の研修計画を立てることでの確かな人材の確保・定着に取り組んでいます。	
【15】 II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a
<コメント> 職員の評価などは法人本部に集約し、法人の人事考課表・自己評価表などに基づいて総合的での確かな人事管理をおこなっています。	
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
【16】 II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
<コメント> 有給残数の把握などの就業状況の確認や、面談により職員の状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。	
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
【17】 II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
<コメント> 自己評価チェックシートを用いて定期的に施設長と面談をおこない、適切な育成に取り組んでいます。	

<p>【18】 II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 職員の教育・研修に関する基本方針を明確にし、会議などで共有して評価・見直しをおこなっています。</p>	
<p>【19】 II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 経験やスキル、受講頻度のバランスなどを考慮して個人の研修計画を立てて実施しています。施設長が率先してOJTを実施して、職員一人ひとりの教育に取り組んでいます。</p>	
<p>(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>	
<p>【20】 II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt; 実習生を受け入れるためのマニュアルなどは整備していませんが、見学を適時募集するなど、実習生を受け入れる体制を整備しています。</p>	

### 3 運営の透明性の確保

<p>(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p>	第三者評価結果
<p>【21】 II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 運営の透明性を確保するために、ホームページや園内掲示を利用して情報を公開しているほか、地域のイベント参加なども利用して情報公開をおこなっています。</p>	
<p>【22】 II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p>	a
<p>&lt;コメント&gt; 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のために、経理情報の本部への定期報告や、外部専門家による行政監査などをおこなっています。</p>	

### 4 地域との交流、地域貢献

<p>(1) 地域との関係が適切に確保されている。</p>	第三者評価結果
<p>【23】 II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p>	b
<p>&lt;コメント&gt; 子どもと地域との交流を広げるため、園内掲示などにより保護者へ地域の情報を提供し、園見学の受け入れをおこなっています。</p>	

<p>【24】 II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p>	<p>b</p>
<p>&lt;コメント&gt; ボランティアを受け入れるためのマニュアルなどは整備していませんが、希望があれば受入れをおこなう意向があります。</p>	
<p>(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>	
<p>【25】 II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; 区の園長会にて地域の福祉ニーズ等の情報交換をおこなうなど、関係機関との連携に努めています。また、おさんぽマップの掲示や嘱託医・歯科医の周知をおこない、保護者への情報を提供しています。</p>	
<p>(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>	
<p>【26】 II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; 運営委員会の実施や、区の園長会・関係機関との連携により地域の福祉ニーズ等を把握しています。</p>	
<p>【27】 II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; 地域の福祉ニーズに応えるため、地域の子育て支援を目的としたNPO法人が主催するイベントへ積極的に参加している。</p>	

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### 1 利用者本位の福祉サービス

<p>(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>【28】 III-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつため、園内研修の実施や、職員会議での振り返りをおこなっています。</p>	
<p>【29】 III-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; 子どものプライバシー保護に配慮するため関係法令に準拠しています。パーテーションの使用やSNS投稿時の配慮をし、会議などでも議題に挙げて日常的な保育の中での反省点がないかなどの確認をおこなっています。</p>	

(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	
【30】 Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<コメント> WEBコンテンツやパンフレット・入園説明会などで、必要な情報を提供しています。園の見学会もおこない、より詳しい施設や保育の情報を提供しています。	
【31】 Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
<コメント> 入園の際には入園説明会をおこない、保育内容、園の特徴について保護者に説明をしています。説明にあたっては児童票などを作成してわかりやすい説明を心がけています。	
【32】 Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b
<コメント> 利用者の事情により転園が生じた場合は、子どもが次の園でも安心して過ごせるように保育の継続性に配慮しています。転園先からの問い合わせに応じ、保育に関わる必要な情報の提供をおこないます。	
(3) 利用者満足の上昇に努めている。	
【33】 Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<コメント> 保護者の意見のみではなく子どもの意見も尊重するように努めています。保護者との日常的なやり取りの他に、行事ごとのアンケート実施や、保護者会、個別面談、懇談会を実施しています。アンケート結果やヒアリング結果を基に会議で改善が必要な事項について検討しています。	
(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
【34】 Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
【判断した理由・特記事項等】 苦情解決窓口を設置し、園内掲示や入園時に周知しています。実際に苦情があった場合は苦情の内容や対応策や対応実績を公表しています。	
【35】 Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
<コメント> 複数の相談方法を用意し、相談や意見をしやすい環境を整え、それを公表しています。園内には相談室を設置して、相談者への配慮した環境も整えています。	

<p>【36】 Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; 相談や意見の内容によって適切な対応者が対応しています。苦情対応マニュアルに従うことを基本とし、状況に応じて園長や法人本部が適切な対応をするように努めています。</p>	
<p>(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>	
<p>【37】 Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; 安心・安全な福祉サービスの提供するためにリスクマネジメント責任者を設置し体制を整え、園内掲示などにより公表しています。事故に対する記録は、ヒヤリハットや事故記録の作成をし、文書共有や昼礼での共有もおこなっています。リスクマネジメントについての園内研修を実施し、安全点検表などを用いて安心・安全な福祉サービスの提供に努めています。</p>	
<p>【38】 Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; 法人本部が主導して感染症マニュアルを整備し、感染症の予防や発生時における子どもの安全確保に努めています。感染症についての研修を実施して職員の知識を高め、市や区からの情報収集にも努めています。</p>	
<p>【39】 Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; 避難訓練の実施や、火災報知器・地震発報装置・備蓄品・防災用品・避難用品の設置をおこない災害時の安全確保に努めています。実際の災害時には保護者へのメールが配信されるシステムの導入をして、情報伝達にも配慮しています。</p>	

## 2 福祉サービスの質の確保

<p>(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>【40】 Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; 保育について標準的な実施方法について、法人が基本的な保育方針や実施方法を定めた「木下の心得」を基に提供しています。さらに業務に関する書類は統一された様式を用いるように取組み、自己評価などでチェックする体制を整えています。</p>	
<p>【41】 Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	<p>a</p>
<p>&lt;コメント&gt; 年度末の保育所評価で園としての見直しを、自己評価において個人の見直しをする仕組みが確率しています。日常的にも会議などで議題に挙げて標準的なサービスが提供できているかの確認をおこなっています。</p>	

(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

【42】 Ⅲ-2-(2)-①  
アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。

a

<コメント>

全体的な計画にもとづき、園長の指導により各担当が、一人ひとりの子どもに配慮した指導計画を適切に作成しています。子どもの様子を見ながら職員会議などでも内容を精査しています。

【43】 Ⅲ-2-(2)-②  
定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。

a

<コメント>

職員間で共有した情報を基に、定期的に指導計画の評価・見直しをおこなっています。個人面談による保護者からの要望も取り入れて計画の見直しをおこなっています。

(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。

【44】 Ⅲ-2-(3)-①  
子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。

a

<コメント>

保育システムの活用により子どもに関する保育の実施状況を統一された様式で記録し、職員間で共有しています。昼礼ノートなども用いて職員間の状況共有は特に意識をして徹底しています。

【45】 Ⅲ-2-(3)-②  
子どもに関する記録の管理体制が確立している。

a

<コメント>

関係法令に準拠した規定の整備や、記録管理の責任者の設置をおこない、子どもに関する記録の管理体制を整えた上で、個人情報保護チェックシートなどを用いて適切な情報管理をしています。園内研修や外部研修も積極的に活用して職員の個人情報保護についての知識を高めるように努めています。